

代替・補完医療、トンデモ

<https://l-hospitalier.github.io>

2017.3

1998 年ハーバード大の D. Eisenberg が米国で代替医療を調査。米国民の 40%が年間 6 億回の代替医療を受け 270 億ドル使用(通常医療とほぼ同額)、96%は通常医療併用。2000 年初頭には整体療法を 42 州、鍼灸を 7 州で医療保険がカバーし、3 州でホメオパシーの法定資格が定められていた。【薬草(ハーブ)療法】は 3 人に 1 人が使用、費用は 40 億ドルであり NIH は代替医療研究のため NCCAM (National Center for Complementary & Alternative Medicine) を発足させた*¹。FDA は薬草マオウにはエフェドリンやハーバル・エクスタシー(法定禁止薬)が含まれ、800 以上の有害事象があると報告。主な薬草のエビデンスについて、証拠があり、中程度の効果があるものは①鬱病に対するセントジョンズ・ワート(西洋オトギリソウ)②認知症に対する銀杏(ドネペジルに匹敵)のみと報告(CMDT, 2003)。【ホメオパシー】1790 年 C.F.S. Hahnemann が体系化、“類似の法則”、“希釈仕様”(希釈と振盪を行い分子がほとんど無い濃度にまで希釈する)、“潜在能力活性化”の 3 大原理に基づく*²。180 件以上の比較研究(RCT)ではほぼプラセボより優れた効果を発揮(ほとんどが英語以外の論文)とされたが英国ではプラセボと差が無かった。【レフレクソロジー】内臓反射療法、足底の特定部位を圧迫刺激して疼痛緩和などを得る。英国では議会の承認後、看護師がこれを行っている。日本ではメイド服の女子高生による JK リフレも。【オステオパシー、カイロプラクテック】整体療法、アメリカではオステオパスは Doctor of Osteopathy (D.O.) と呼ばれる職業学位称号を有し、西洋医学医師(M.D.)と同様に正規の医師であり、全ての「医行為」が認められている<= この項ウィキより引用、未確認。日本では・整体・カイロプラクテック同様、無資格の無届医業類似行為。日本では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格がある。【プラセンタ】日本では肝底護薬として保険適用*³、日赤はプラセンタ注射歴のある人は、狂牛病回避のため献血不可とした。【河野メソッド】*⁴ 認知症治療法のための経験的プロトコル集(毎年変更)。(患者より)介護者を優先する介護者保護主義。糠のサプリメント(フェルラ酸)や保険外の意識障害治療薬ニコリンなどを使用する。【漢方薬】日本、韓国、中国では正規の病院でも漢方薬が処方される。米国でも 10 州以上で保険適用あり。【大麻】マリファナ。テトラヒドロカンビノールは日本では大麻取締法違反。【MMR(流行性耳下腺炎、麻疹、風疹)ワクチンで自閉症】というランセット論文は全くの捏造、コ克蘭共同計画はこれを否定。論文撤回は 12 年後、著者は医師免許剥奪(詐欺罪)。【アルツハイマー・アルミニウム説】FDA は否定。アミロイド説もワクチンで沈着を抑えたが無効、今はタウオパチー(リン酸化 τ 蛋白の神経細胞内蓄積)説が有力。但しアルミと痴呆は関係あり*⁵。糖質、グルテン制限、ゲルマニウム、プロポリス、フコダイン、 β グルカン、CoQ10 etc. 【原則】Katzung「薬理学 9 版」には学生が忘れてはならない原則として①全ての物質は有毒になりうる②全ての治療法は有効性、安全性につき医薬品と同じ基準のエビデンスを持たねばならない。を挙げている。

*¹ 年間一億ドル以上の予算を使い臨床試験をおこなったが、ほとんど良い結果を得ることがなく、厳しい批判を受け改組。*² 1988 年 Nature 掲載の J. ベンベニスト(イグ・ノーベル賞)「水の記憶(極度に希釈された抗血清中の...)」が根拠?後に撤回。2016 年 11 月 FDA はホメオパシー薬品(Hylands 社)の使用中止と廃棄を勧告(死亡例はベラドンナによる?)。*³ ラエンネック、メルスモンの 2 種。過去にメルスモン製薬は薬事法違反で行政処分。*⁴ 河野和彦医師、フェルガードの競合品に対する信用棄損で医業停止 3 か月(2016.9.30 毎日新聞)*⁵ グラム島での調査。